

出前講座のメニューが決定

市民の皆さんが「知りたい・聞きたい・学びたい」ことを、市職員・関係行政機関の職員が講師として地域に伺って説明する「出前講座」を開講します。
▶利用できる方＝市内に在住・在勤・在学の方10人以上で構成される団体
▶開催期間＝5月7日(火)～2020年3月31日(火) (12月28日(土)～1月5日(日)を除く)
▶開催時間＝10時～21時
▶開催場所＝市内
※会場の手配や準備は申込団体をお願いします。
▶費用＝職員派遣・資料作成費用は無料
※施設借上料、原材料費、使用する資料が有償の場合の資料代は、申し込み団体の負担となります。
▶申込方法＝地域づくり課へ申込書を提出。申込書類は、地域づくり課、中部コミュニティセンター、白里出張所の各窓口、市ホームページから入手できます。

※実施にあたり担当課等との調整が必要ですので、受講希望日の2か月前から1か月前までの申し込みにご協力をお願いします。
▶その他
・実施の際は、「大網白里市出前講座」として開催をお願いします。
・開催にあたり、参加者への周知や進行などは、申し込み団体をお願いします。
・出前講座は、苦情や要望をお聞きする場ではありません。また、出前講座の趣旨に沿わない場合はお断りする場合があります。
・よりよい制度とするために、講座終了後に報告書の提出をお願いします。
☎ 0475(70)0342

2019年度出前講座メニュー一覧

Table with 2 columns: No., 講座名(説明時間). Lists 27 different topics such as '広報紙の作り方', 'マイナンバー制度について', '選挙について', etc.

※その他、市役所以外の講座もありますので、詳細は市ホームページをご覧ください。

協働のまちづくり通信

No.71

2019年度実施 住民協働事業がスタート

さまざまな団体と市が、お互いの特性を生かして明確な役割分担と責任のもと、対等な立場で協力しながら公共的課題に取り組み「住民協働事業」を紹介いたします。
▼平成31年度住民協働事業
・認知症カフェ・かきつばたの運営
・ハマボウフウ特産品化プロジェクト
・ひきこもり当事者および家族の支援
・上谷新田区買物送迎事業
各事業の活動状況や参加者の募集については、市広報紙やホームページへ掲載します。皆さんの参加をお待ちしています。

住民協働事業成果報告会を開催

平成30年度に住民協働事業を実施した6団体による成果報告会を開催します。

街資源再興プロジェクト

海浜植物のハマボウフウを栽培して市の特産品を目指すハマボウフウ特産品化プロジェクトの活動をしています。特産品化のホームページでは、私たちの活動内容がわかりやすく掲載されています。ぜひご覧ください。《大網ハマボウフウ》で検索してください。
抗酸化作用が期待できるといわれているハマボウフウの露地物は、4月～6月までが旬の時期です。164年前の大網の網元のおもてなし料理の献立に刺身のつまとして用いられていたとあるように昔から香草として親しまれてきました。今後、市内での一般販売を予定しています。大網ならではの、ハマボウフウストーリーの動画公開も予定しています。公開情報については、ホームページをご覧ください。
また、市内在住の方で食材としてのハマボウフウ栽培に関心がある方、栽培畑での作業にご協力いただける方を募集中です。加工品開発に関しても興味のある方はご連絡ください。



特産品化ホームページQRコード

こちらは消費生活センターです!

詐欺的な「サクラサイト商法」のトラブルにご注意を!

「サクラサイト」とは、消費者のさまざまな気持ちにつけ込み、自身のサイトへ誘導してメール交換等の有料サービスを利用させ、その結果何度も支払いを強要するサイトのことです。

このようなサイトに入るきっかけは、スマートフォン等に直接届く広告メール、SNSサイトへのメッセージの書き込み、内職・副業サイトへの登録後に届くメール、懸賞サイト・占いサイト等へ登録後に届くメールなどいろいろです。同情心や好奇心から始めたメール交換で、相手から諸費用を請求され、言われるままお金を支払い続けますが、本人が何気なく周囲に話したことで、サクラサイトだと気付くケースもあります。

相談事例

高収入の人と連絡先を交換できるというメールが届き、サイトに登録した。すると、資産家を名乗る人物から、「あなたに800万円の資金援助をしたいが、手続きにお金が必要」というメールが来た。次々と手数料を請求されて支払ったが、一向に援助金が届かない。

消費者へのアドバイス

このようなトラブルにおいてお金を支払ってしまうと、戻ってくるケースは少ないのが実情です。メール交

換では、相手が実在する人物か、メール内容が本当かどうか等の確認が難しいため、まずはインターネットで知り合ったメールの相手方を簡単に信用してしまわないことです。おかしいと思ったときは、お金を支払う前にまず消費生活センターへ相談しましょう。

なお、ポイント等の決済方法には、銀行振込、クレジットカード、電子マネー、コンビニ決済などいろいろな方法が準備されていますが、同一サイトでも、いくつかの方法で支払っていたり、メール相手が複数いたりした場合、時が経つと解決を一層複雑化させてしまいます。万一、メール交換相手に請求されるまま費用を支払ってしまった場合でも、いつ、どこへ、何円、何のために、どの方法で支払ったかなど詳細をメモにし、できるだけ早く消費生活センターへご相談ください。〈参考：国民生活センターホームページより〉

市消費生活センター

▶相談日時＝祝日を除く(月)・(火)・(水)・(金)10時～12時、13時～16時
▶会場＝中央公民館1階相談室
▶相談電話＝0475(70)0344

閩地域づくり課市民協働推進班

0475(70)0342

高齢者の相談窓口

地域包括支援センターだより

～平成30年度認知症普及啓発推進事業(認知症講演会)を開催～

2月8日に開催した認知症講演会では、認知症専門医である医療法人静和会浅井病院 秀野武彦院長から「認知症は予防が肝心～今日から始める認知症予防～」をテーマに認知症の症状や特徴、対応・予防のポイント等についてご講演いただきました。



講演会の様子

約250人の方々に参加いただき、参加者からは「素晴らしい講演を聞くことができ感謝です」「認知症の予防についてよく理解ができました」などの感想が寄せられました。また、講演の途中には地域とつながり隊の方による認知症予防の体操が実施され、大変好評でした。最後に秀野先生からは「何のために認知症の予防をするのか、それを明確にして生活してほしい。認知症にならないということが目的ではなく、発症を遅らせて、いかに自分の望む人生を全うできるか」ということを考えてほしい」と話がありました。

今後も認知症に関する講演会の開催や、認知症の方を地域で支える認知症サポーターの養成、認知症に対する正しい理解の普及啓発等に努めます。

閩地域包括支援センター

0475(70)0439 FAX 0475(70)1093
在宅介護支援センターおおあみ緑の里 0475(73)5146
在宅介護支援センター杜の街 0475(70)1666

店お待ちしています。
▼日時 4月11日(木)・25日(木) 11時～14時
※毎月第2・4(木)開催中。
▼会場 小規模多機能型居宅介護事業所かきつばた(南横)

川17266
▼料金 日替わりランチほか 定食メニュー、デザート、ドリンク
☎ 0475(72)8897